

Jミルク「需要創出事業等」に関する 2024年度 第1回 事業協力者の募集について

独立行政法人農畜産業振興機構による「需要創出事業等」の事業実施主体として一般社団法人Jミルク(以下「Jミルク」という。)が実施する事業に関する事業協力者を募集します。事業への協力を希望される方は下記の通りご応募ください。

記

第1 趣旨

Jミルクでは、牛乳乳製品の安定的な供給など酪農乳業の共通課題に対する取り組みや情報収集・発信や牛乳乳製品の価値向上を図る観点から、これらの活動をさらに効果的・効率的に実行するため、事業協力者を募集し、課題解決や牛乳乳製品の価値向上につながる事業を強化し推進する。

第2 対象事業

別紙1:「需要創出事業等事業」における事業協力者関連事業 の通り

第3 応募資格

本事業を実施する経験及び能力を有し、業務及び経理等について適切かつ効率的な管理体制をもつこと。

第4 応募手続

1. 募集期間 2024年4月10日(水)から2024年4月24日(水)正午
2. 応募方法等
別紙2「事業協力参加表明書」と、事業に関する提案書(以下「企画提案書」という。)を1部添付し募集期間内に「応募・照会等窓口」にメールにて提出すること。
3. その他 応募に係る費用は一切支給しないものとする。

第5 企画提案書

1. 企画提案書は以下の項目について記載すること。
書類の様式等は定めないが、1事業あたりA4版10ページまでに取りまとめることとする。(表紙・会社概要・見積書は含めない)なお、企画提案書は、別紙の事業の区分を明確にして作成すること。また、複数事業に応募する場合は、会社概要等重複する内容については、省略可。
 - (1)実施計画、実施方法及び実施体制
事業毎の実施計画・内容・スケジュールを記述すること。また社内の実施体制、責任者、必要に応じて主要なクリエイター及びライター、パートナー会社等を明確にすること。
 - (2)事業に必要な経費及びその積算内訳(見積書・消費税込)

なお、企画費・管理費等については、その合理的根拠を明確にすること。

例えば、企画及び管理に必要な作業量やその単価等。

別紙 1 の各事業において、事業内容が区分整理されている場合には、区分に従って事業の一部を分割応募することも可能。この場合は応募内容を明示の上、応募すること。

(3) 関連事業の実績

事業毎に類似する実績があれば記載すること。

(4) その他参考となる資料

2. 提出された企画提案書は次の通り取り扱うこととする。

(1) 企画提案書は返却しない。

(2) 企画提案書は採点等本事業にかかる事務手続以外の目的に使用しない。

第6 事業協力者の選定等

1. 事業協力者の選定については、企画提案書を選定会議で審査することにより行う。なお審査を行う上で必要があるときは参加者に対し企画提案書の内容について説明を求めることがある。

2. 選定の基準は①企画内容、②価格の順に選定する。

3. 選定結果は 2024 年 4 月 26 日(金)までにすべての参加者に通知する。

第7 事業実施等

事業実施内容は、企画提案内容を両者で協議のうえ決定する。実施期間は、契約の日から 2025 年 3 月末日までとする。

第8 応募・照会等窓口

本事業の詳細のお問い合わせは下記宛てにお願いします。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 5 階

一般社団法人 J ミルク 学術調査グループ 前いずみ

TEL:03-5577-7494 mae@j-milk.jp

以上

「需要創出事業等事業」における事業協力者関連事業

事業No	実施項目	事業目的	実施内容	実施期間	主なターゲット	訴求する主な価値	企画にあたっての留意点	予算の上限 (千円・税込)
1	食生活動向調査の実施	最近の生活者における牛乳・乳製品に対する意識や消費実態を明らかにすると共に業界で実施する普及活動の効果測定の指標とする。	①インターネットを用いて、約 10,000 サンプルの生活者に対して意識調査を行う。この調査の設計、質問票の作成、実査、集計・分析、報告書の作成(対外発表するための修正を含む)を実施する。 調査項目については、2023 年度に実施した「牛乳乳製品に関する食生活動向調査 2023」を参考にすること。 https://www.j-milk.jp/report/trends/Research202402.html 参照 ②①で得た成果をもとに、インターネットを用いて価値意識や行動意識の変化に関する対象のサンプルを絞った深堀調査を実施する。調査には、①同様、設計、質問票の作成、実査、集計・分析、報告書の作成を含む。	5月～3月	生活者	現在の生活者の牛乳・乳製品に対する意識や価値を明確にする	経年変化が確認でき、かつ今後の需要創出に向けた基礎資料とする。 予算については、①②の積算をそれぞれ明示すること。	12,000
2	牛乳類小売情報の購入	牛乳乳製品に関する販売実態を把握検討し、Jミルク需給見通しでの活用、ならびに会員等への有用情報としてJミルクホームページで情報提供する。	全国を単位とした販売状況に関するサンプル調査データの購入 ①対象 全国の量販店、コンビニエンスストア等 ②調査項目 a)牛乳類、発酵乳・バター類の販売金額、販売数量、販売単価 ③報告サイクル a)月次および週次で取りまとめたデータ ④サンプル数 全国 1,800 サンプル程度 ⑤サンプルの割り付け 指定生乳生産者団体の区域による区分(9 区分) ⑥サンプルの抽出 無作為1段階以上とする。 ⑦データは 12 カ月を購入(2024 年 3 月～2025 年 2 月分) 3 月分のデータについては、事業協力者決定後、Jミルクに提供するものとする。 ⑧情報提供方法はJミルクホームページを参照すること。 牛乳類の販売速報 https://www.j-milk.jp/gyokai/sri/berohe0000002rwo.html 需給短信 https://www.j-milk.jp/gyokai/jukyu/index.html ※牛乳類とは、「牛乳」「成分調整牛乳」「加工乳」「白物乳飲料」とする。	4月～3月	全国の量販店、コンビニエンスストア等	全国小売店パネル調査等	全国の代表性と速報性を兼ねた調査データであること。	24,000
3	研究集会の開催・運営	既存の研究成果を活用した、研究集会等を運営・開催し、エビデンスを関係者に広く周知する。	事業名 ジャパンミルクコンgres 2024(実施日 2024 年 11 月 30 日(土)) 集会型及び後日オンデマンド配信を基本として実施する。委託する運営業務は、事前の準備のほか、必要な業務。参加者規模は 250 名を予定。特別講演 1 名、口頭発表者 4 名、ポスター発表者 16 名(予定) 【見積りに含めなくてよいもの】 登壇者と参加者旅費・謝金 * 運営に必要で、予算上限の範囲に収まらない業務等についてはオプションで提案のこと。 参考 https://m-alliance.j-milk.jp/jmilk-news/2023news/detail/1006.html	4月～3月	業界関係者、研究者、学校関係者、栄養士等	・参加者を最大化する広報を含めた工夫。 ・参加者交流を行いやすくする工夫。 ・エビデンス情報を的確に伝達する運営。	・交流を目的とした安全かつ快適な環境設定(設計)等で、参加のしやすさを十分に担保すること。 ・参加者を最大化するための広報提案がある場合は特にアピールすること。 ・見積りの設定とは変更になる場合があるので、柔軟な対応が可能であること。	4,200 (会場費込)

4	牛乳乳製品の最新研究情報レポート制作	牛乳乳製品の価値向上で活用できる基礎情報として、国内外の学会誌や政府研究機関等で発表された最新の研究情報の要約資料を作成。	<p>①牛乳乳製品の価値向上に資する海外の科学的な研究成果の最新情報をもとに、収集・翻訳・要約を行う。およそ 30 論文程度を収集し、そのうち重要な 20 論文程度の翻訳を含む要約を行う。</p> <p>②①で収集した情報から、特にエビデンスレベルの高い論文について、業界関係者等に情報提供できるよう、A4 で 1 頁ほどの「最新研究レポート」として要約し、電子データ 10 報程度にまとめるものとする。</p> <p>①②の論文の収集するテーマや入手、翻訳や要約については J ミルク事業担当と相談しながら実施する。</p> <p>企画にあたってはこれまでの実績を参考にすること。</p> <p>https://www.j-milk.jp/report/study/acad.research/index.html 参照</p>	4 月～3 月	業界関係者、医療関係者、栄養士	収集論文の研究結果の意味や価値を明確にする	論文で書かれている内容について、文章及び図表、視覚効果等を用いて、わかりやすく表現すること。	4,800
5	メディア・関係者向け栄養価値等広報資料の作成	牛乳乳製品の価値情報をメディアに対し広報するため資料を作成し広報を行う	<p>メディア向けに牛乳・乳製品の科学的エビデンスや学校給食用牛乳の役割などの価値情報をメディアに分かりやすく伝え、牛乳・乳製品を新たに食事に取り入れることなどの記事掲載を促進するための資料を作成する。</p> <p>なお、食生活課題に対して牛乳乳製品が貢献するものとし、具体的な生活場面での利用方法などの提案も盛り込んだ資料とする。作成した資料は関係メディアに配信するほか、J ミルクウェブサイトで公開する。</p> <p>作成する資料は、冊子体で年間 1 回(各 20 ページ想定)、制作する。</p> <p>企画にあたってはこれまでの実績を参考にすること。</p> <p>https://www.j-milk.jp/report/study/factbook_index.html ファクトブック参照</p>	4 月～3 月	メディア・酪農乳業関係者	消費者が関心ある話題を踏まえ、牛乳・乳製品のエビデンスを有効活用したメディア向け発信	タイムリーなテーマの提案・設定	2,500
6	メディア・流通関係者向け需給構造の解説資料制作	生乳の需給構造や取り巻く情勢をターゲットにわかりやすく説明する解説資料の制作を行う	<p>現在の国内の生乳の需給は、緩和と逼迫を短い周期で繰り返すなど、他の産業に見られない特殊な需給構造を持つ。そのため、メディアや流通関係者を対象とした、需給構造や取り巻く情勢、背景等に触れ、わかりやすく解説した資料の 2024 年版を制作し、ホームページで公開するとともに、印刷資料を作成する(2500 部)。</p> <p>https://www.j-milk.jp/news/m_supplychain2023.html 参照</p>	10～12 月	メディア・流通関係者	需給構造のわかりやすい解説やビジュアル	ターゲットに適した内容や表現とすること	2,500
7	世界の酪農乳業のトレンドを広報するための資料制作	国際 Dairy レポートの制作発送	<p>世界の日本に先駆けるトレンド(例えば持続可能性、植物性代替食品、フードテック)の海外の乳にかかわる生産、処理、販売、商品の選択傾向、社会動向や酪農乳業等の国際組織の活動状況をリサーチ・分析、翻訳し、世界のトレンドを取り入れた新たな需要に応える新商品開発や販売戦略などに役立つ資料として酪農乳業関係者に提供する資料を制作する。(年 2 回)</p> <p>なお事業は①情報の収集②翻訳③データ制作④印刷・配布(全国 2000 か所)で構成し、それぞれ単独での応募も可能とする。</p> <p>https://www.j-milk.jp/report/international/index.html 国際 Dairy レポート参照</p>	4 月～3 月	酪農乳業関係者	世界の動向を的確にリサーチする	国内酪農乳業関係者に役立つ最新のわかりやすい海外情報を提供する 翻訳と制作など、事業の一部のみの応募を可とする。一部のみ応募の場合、事前に事業担当者に確認すること。	7,200
8	関係者向け酪農乳業の最新情報提供	酪農乳業や牛乳乳製品に関する価値情報をわかりやすく発信し、酪農乳業関係者等へ共有する	<p>酪農乳業関係者等の取り組みの参考となる事例を取材、紹介するとともに、牛乳乳製品の健康栄養や気になる疑問、酪農乳業の課題などの情報をわかりやすく解説し、酪農乳業関係者の需要創出・理解醸成活動に活用しやすいコンテンツとして開発する。</p> <p>年間 2 号発行・印刷(2,300 部)・配布(全国 2,200 箇所)</p> <p>過去の例 J ミルクレポート https://www.j-milk.jp/about/report/index.html</p>	4 月～3 月	業界関係者・研究者、学校・栄養関係者、等	繰り返し読み取り、保存しておきたくなる工夫があること。	内容の確かさ及びビジュアルの見やすさ等に配慮し制作できること。年間 2 号について、酪農乳業の業界課題も意識した企画/取材/提案を行うこと。また、各企画ページのリーフレット化やキーコンテンツの SNS 等での活用も念頭に制作する。	15,240

一般社団法人 Jミルク 専務理事 殿

住所
商号または名称
代表者氏名

「需要創出事業等事業」に関する事業協力参加表明書

標記、事業に係る企画提案書を下記の通り提出します。

記

応募事業 応募する事業に○を記入。

応募事業 (○を記入)	No	実施項目
	1	食生活動向調査の実施
	2	牛乳類小売情報の購入
	3	研究集会の開催・運営
	4	牛乳乳製品の最新研究情報レポート制作
	5	メディア・関係者向け栄養価値等広報資料の作成
	6	メディア・流通関係者向け需給構造の解説資料制作
	7	世界の酪農乳業のトレンドを広報するための資料制作
	7-a)	制作・印刷・発送
	7-b)	翻訳
	8	関係者向け酪農乳業の最新情報提供

添付書類：企画提案書 1 部

【連絡先・担当者】

氏名(ふりがな)	
所属・役職	
電話番号	
E-mail	

以上